

池田町15歳の全ての生徒に求める姿
「自ら拓き、共に生きる池田の子」

池田町学びの郷
保小中15年プラン
3つのチャレンジ

学校教育目標
自ら学び、共に考える子

【経営の理念（合言葉）】

「魅力ある学校（ひとりひとりが、たからもの）」

めざす学校像：「今日は楽しかったな。」「来て良かったな。」「明日もまた来たいな。」と思える学校

めざす教師像：子どもを大切にしている教師・授業を大切にしている教師・チームワークを大切にしている教師

明日が楽しみになる学校 3つの柱

- ・誰もが「学んで最高に楽しい！」と叫びたくなる授業（学びづくり）
- ・誰もが「自分最高！」「自分大好き！」と言える集団（心づくり）
- ・誰もが、集団の中で自分らしく学び、活動することを保証される環境（体制づくり）

地域との連携・協働(CS)

学びづくり

- <学ぶめあてをもち、自ら学ぶ子を育てるために>
- ・協働的な学びを軸としながら、個別最適な学びとの一体化をめざした授業
 - ・子どもたちが自分に合った学び方を選べるコース別学習及び家庭学習
 - ・個別の課題をもってトコトン探究に没頭する「探究の時間」の設定

心づくり

- <自己肯定感・自己有用感を高めるために>
- ・「ナッジ理論」を取り入れた教育の実践
 - ・子どもが企画し、運営する行事の支援
 - ・異学年交流（縦割り清掃・池田の時間等）の活性化
 - ・「いいとこみつけ」の積極的活用

インクルーシブな教育の体制づくり

- <全ての子ども「らしさ」を認め、全ての子どもが「自分らしく」学べる環境づくりのために>
- ・教育支援委員会の在り方→子どもを支援級等集団の外に「つなぐ」考え方でなく、子どもの困り感に寄り添い、教師が各自の立場でできる支援を相談・検討し、実践に生かす、インクルーシブな教育を推進していく場とする。
 - ・スクリーニングを継続して行い、全職員で情報共有、不登校の未然防止に努める。

池田町第2次教育大綱

「子どもがまんなか 未来を拓くひとづくり」